

令和5年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立白南風小学校		作成者	職名	教頭
電話番号	(0956) 31-7221			氏名	日数谷 優子
1 年間の実施内容(取組状況・実績等)					
4月	実施テーマ	体罰・暴言の禁止 セクハラ・わいせつ行為の防止			
<u>取組の評価・改善点</u> <ul style="list-style-type: none"> 校長による学校経営方針説明の折、服務規律の徹底を説いた。 不祥事防止について、自己抑制ができるよう定期的に指導した。 通知をもとに、自校から不祥事を絶対に出さないという意識を高めることができた。 セクハラ・わいせつ行為の防止については、教職員のためのコンプライアンスハンドブックや自己分析チェックシートを実施し、自己分析しながら抑制することができた。今後も当事者意識を持ち、自校から不祥事を絶対に出さないという「チーム白南風」としての規律意識を高めていく。 職員の言動に対し細心の注意を払い、管理職が率先して各職員への言葉掛けを行い、職員間の信頼関係を醸成する。 業績評価シートへ「体罰によらない指導」の目標設定や服務規律に関する記載、及び面談を通して意識の啓発と共通理解を図る。体罰の未然防止・発見の校内体制を構築する。 					
7月	実施テーマ	体罰・暴言の禁止 公金等の不正処理の防止 情報セキュリティ対策の徹底			
<u>取組の評価・改善点</u> <ul style="list-style-type: none"> 不祥事根絶のために外部講師を招き、研修会を実施し、個々の職員の意識の高揚を図ることができた。 各種会計簿等の処理が適正に処理されているか考査した。 ウイルスチェックやパスワード等のセキュリティ対策の徹底を適時指導した。 情報セキュリティー対策において、研修で得た知見を日常に生かし、情報管理、情報漏洩の防止に努めた。 情報セキュリティーについての過失事案、被害事案等を周知するとともに、漏洩防止のための対策を確認する。特にウイルスチェックの徹底を図る。 					
12月	実施テーマ	飲酒運転の根絶 セクハラ・わいせつ行為の防止 体罰・暴言の禁止			
<u>取組の評価・改善点</u> <ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス通信をもとに学校の危機、家族の危機について指導し、当事者意識を高めることができた。 大声をあげての叱責の効果はないことを確認し、お互いに気をつけ合うことを確認した。 児童理解の上に立った受容と傾聴の意識を持つことの重要性を重点的に指導したことで、自己の抑制につながった。 受け止める側の気持ちに立って伝えるという意識を持つように指導した結果、自分の指導や言葉遣いを振り返ることができた。 職場関係の飲酒の際は、ハンドルキーパー等帰りの交通手段の確認を行い、飲酒運転の根絶に努めることで、私的な飲酒を伴う外出の際にも意識を高めさせる。 学校評価の保護者や地域の評価を研修資料として活用することで、意識改革を図る。 					
2 服務規律委員会					
委員会名	白南風小学校服務規律委員会				
構成員	所属内委員(6名)、外部委員(4名 役職等:育友会会長、学校評議員)				
3 年間を通しての計画の達成状況					

年間を通しての取組状況チェックリスト

- (1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

イ	ウ	オ	キ	ク	ケ				
その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）									

- (2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
---------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

- (3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
---------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

- (4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 不十分だった	<input type="checkbox"/> 実施していない
---------------------------	--------------------------------	---------------------------------	----------------------------------

資料添付 有 ・ (無)

<実施結果報告書作成に関して>

※ 様式枠の大きさは適宜変更してください。

※ 各所属で作成された資料等があれば、県内の学校への取組事例紹介等に活用するため、積極的に添付してください。また、添付資料を含め電子メールで送信されても結構です。

別表	校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）
<p>校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。</p> <p>校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。</p>	
<p>【工夫（例）】</p> <p>ア 運営の工夫 ・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。</p> <p>イ 具体的な事例の紹介 ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。</p> <p>ウ 外部講師を招いての講話</p> <p>エ 体験的な研修 ・ロールプレイを取り入れる。</p> <p>オ グループ討議 ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。 ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。</p> <p>カ ワークシートの作成 ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。</p> <p>キ チェックリストを作成 ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。</p> <p>ク ファイリングして保存 ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。</p> <p>ケ 決意表明 ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。</p> <p>コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組 ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。</p>	